

Employee's Profile

初めまして、7月に東京支店営業部に配属されました柳 晶（リュウ ショウ）と申します。中国上海出身です。来日して既に10年半になりました。今まで、工場職、居酒屋、セールスプロモーション業の営業職を経験してきましたが、海運業界は初めてです。国際人になるという夢を持って来日し、ジャパントラストの仕事を通じて、米国、日本、中国など世界に羽ばたき、夢が叶えられる気がします。良い提案、良い結果、良い関係、それらが繋がってこそその営業マンとしての存在意義だと信じています。お客様の商売のため、情報の提供、コスト削減の提案をすることは私の仕事ですので、お客様のニーズに応え、信頼を高め、さらに利益に貢献できるよう、日々昇進し努力してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。バトミントンに興味がある方は、ぜひ声をかけてください、一緒にやりましょう。

東京支店 柳



ジャパントラストかわら版
情熱羅針盤



世界の港から 名古屋港～鍋田ふ頭～

10月後半に名古屋港にあります鍋田ふ頭（通称：NUCT）に見学に行って参りました。このターミナルは、主に中国、アジア圏からの輸出入貨物を取り扱っており、写真のように名古屋港の中でも多くのコンテナ取り扱い量を持っています。少し見にくいですが、写真の真ん中に見えます青いクレーンは、テナークレーン（トランステナー）といって、船から降ろしたコンテナをヤードに蔵置する、そしてそのコンテナをまたシャーシに積み込むクレーンです。テナークレーンは安全性と蔵置能力が高く、現在は従来のコンテナキャリアからテナークレーンへと移行が進んでいるようです。また、通常は有人での操作になりますが、無人で遠隔操作するテナークレーンも他のターミナルで一部使用しているそうです。



弊社でも取り扱いのあるFLATコンテナの貨物もありました。ヤードの中では、コンテナをコンテナ番号で管理しており、GPS機能により、どこにどのコンテナが置いてあるかわかるようになっているそうです。当日は20feet換算で約13,000本の荷入りコンテナ、空コンテナも合わせると約25,000本ほどのコンテナがありました。10月のボリュームは船で約190杯。月間で約90,000本のコンテナの積み下ろしが行われています。この時期は、中国からの秋冬物の衣料が多いそうです。鍋田ふ頭は現在第3バースを増設しており、取扱量も増える予定という事で楽しみです。

名古屋本社 前田

【前回のクイズの問題】

A、B、Cの三人の親友が、共同出資で宝くじを買ったところ、幸運にも一千万円が当たった。しかし分配にあたって、三人が三人とも、他の二人より少なくとも嫌だし、もちろん三人以外には一円たりともやりたくない、ともめている。さて、三人で等分に分けることができるだろうか。

【回答】

銀行、もしくは郵便局に預けて利子を付け、三で割り切れるようになってから分ければよい。

三等分できなかった分は、株や宝くじに投資、又は貯金し、三で割り切れるようになってから分ければよい。

正解されたお客様には商品券を進呈させていただきました。多数のご応募ありがとうございました。